

第 45 回言語文化教育研究学会月例会

留学生対象自律学習科目における 評価ルーブリックの試作

話題提供者: 小林 ひとみ氏(神田外語大学), 松本陽子氏(東京福祉大学)

日時: 2016年9月24日(土) 14:00-15:45

会場: 早稲田大学早稲田キャンパス 22号館 208教室

参加費: 無料

予約: 不要(当日、直接会場にお越しください。)

お問い合わせ: monthly@alce.jp (月例会委員会事務局)

ルーブリックとは、一般的に「ある課題をいくつかの構成要素に分け、その要素ごとに評価基準を満たすレベルについて詳細に説明したもので、様々な課題の評価に使うことができる」(スティーブンス&レビ 2014)とされています。

本月例会で発表するルーブリックは、神田外語大学留学生別科の自律学習科目において、学習者による自律学習のリフレクション記述に対し、その改善のフィードバックをする目的で使用することを想定しているものです。自律学習のリフレクション記述に求められる要素を評価項目にたて、1-4等の段階に分けてその達成度を説明した文言を記載した表形式のものを作成しています。

学生が「自分の学習に関する意思決定を自分で行う」(青木・中田 2011:2) ことができるようになれば、学習者オートノミーが育成され、将来においても効果的な日本語学習を継続することが可能です。そのため、本学留学生別科では、協定校からの交換留学生、提携企業等からの外国人社会人聴講生、ならびに米国の留学機関からの受入れ留学生等を対象に日本語の自律学習を開講しています。

本月例会では「学習者による自律学習のリフレクション記述」を、学生が自己やピア学生に対して使用したり、教師が学生に対して使用したりするために作成した試作版のルーブリックをたたき台にして、自律学習のフィードバックや評価について皆様と様々な議論をしたいと思います。今回の議論を参考にルーブリックを改善し、それをを用いた実験(本学留学生が自己やピア学生のリフレクション記述に対して使用/本学教師が学生の記述に対して使用する)によって有効性を調査し、さらに改善を重ね、来年度から実際に授業で用いることを想定しています。

引用文献

スティーブンス, D. D., レビ, A. J. (2014). 佐藤浩章(監訳)井上敏憲, 俣野秀典(訳)

『大学教員のためのルーブリック評価入門』玉川大学出版部.

青木直子, 中田賀之(2011)「学習者オートノミー—初めての人のためのイントロダクション—」青木直子, 中田賀之(編)

『学習者オートノミー—日本語教育と外国語教育の未来のために—』序章, ひつじ書房, pp. 1-22.